

昨年度市民意見調査結果の詳細分析報告

市民アンケートの実施結果

1. 市民アンケートの実施結果

(1) 趣旨

札幌駅交流拠点再整備構想の検討にあたり、一般的な市民意見の傾向を把握するためにアンケート調査を行った。設問は主に将来（およそ20年後）の札幌駅周辺地区に望む機能やイメージに関する内容である。

(2) 主な設問

訪問頻度、交通手段、訪問の目的

重視すべき機能

（20年後を見据えて）

札幌市の顔やイメージを高めるために必要なこと

自由意見

回答者属性

札幌駅周辺地区のおおよその位置



(3) 調査対象

アンケート配布対象者は、全札幌市民から無作為抽出された2,000人

(4) 調査方法など

調査期間：平成22年1月8日発送

回収締め切り2月20日（消印有効）

調査方法：調査票の郵送

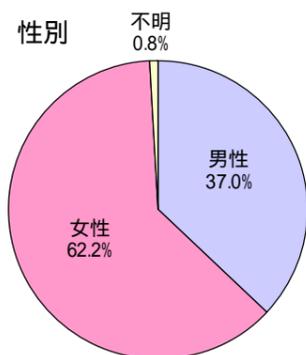
回収：郵送により回収

発送部数：2,000部

回収数：498人

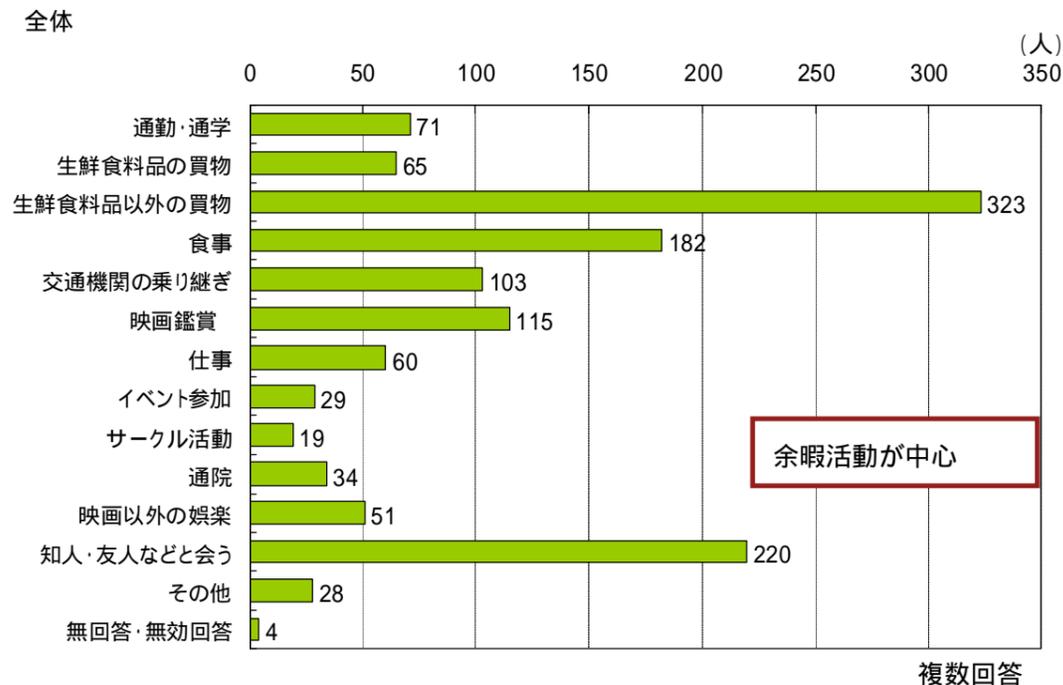
回収率：約24.9%

(5) 回答者の属性

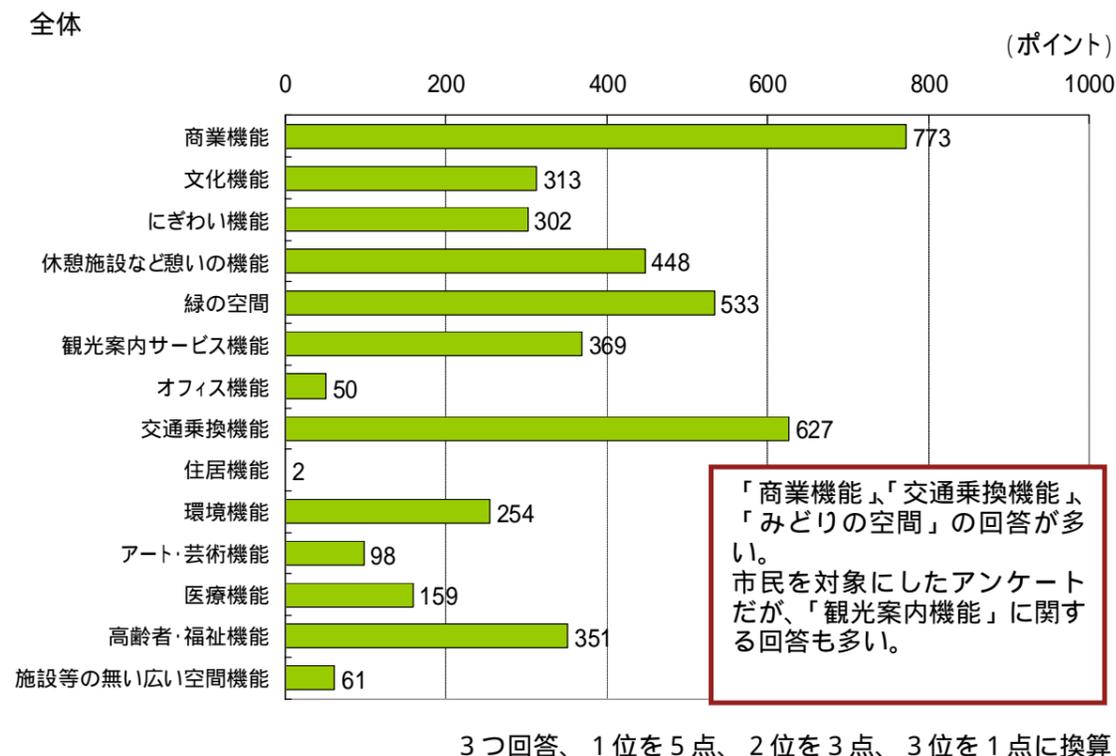


(6) 回答結果

Q1：札幌駅周辺地区に訪れる目的は何か

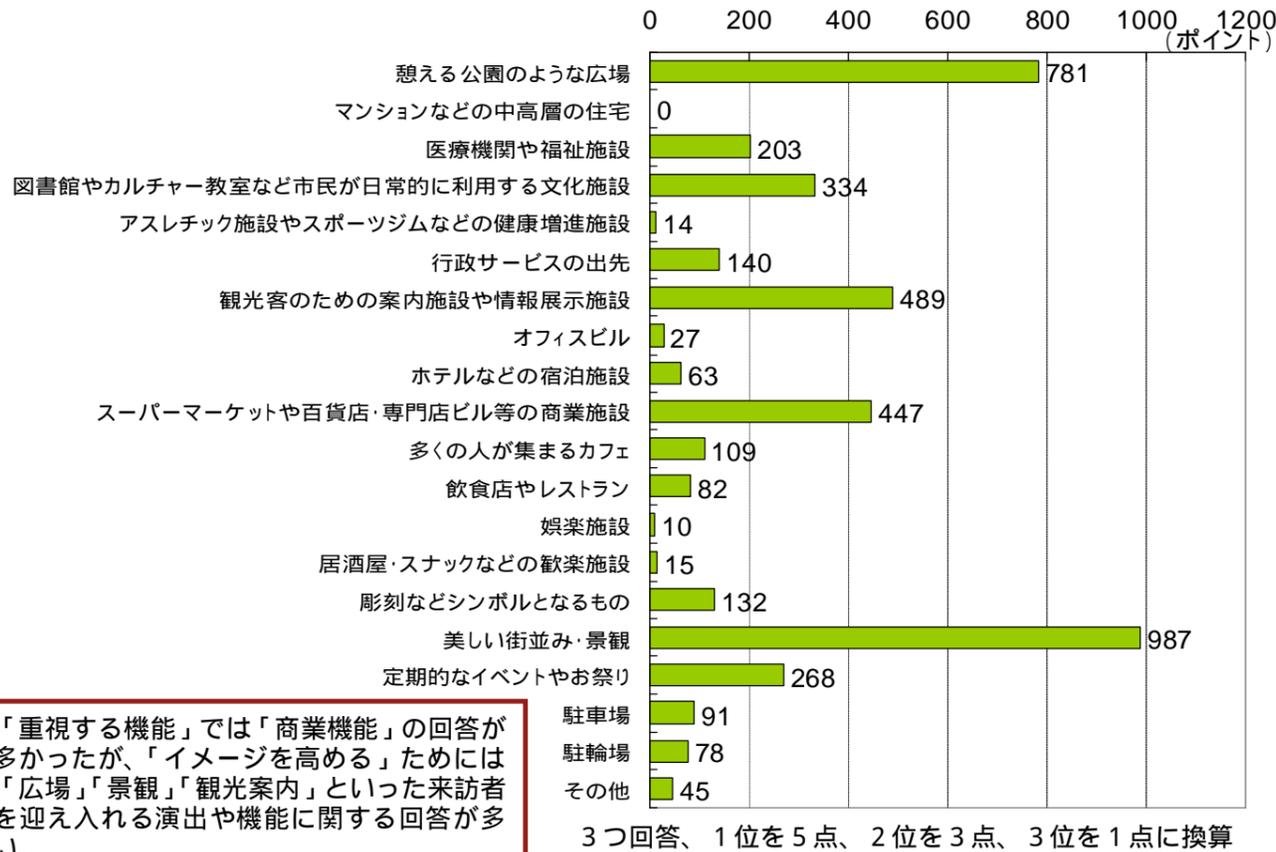


Q2：20年後を見据えた場合、重視すべき機能は何か



「商業機能」、「交通乗換機能」、「みどりの空間」の回答が多い。市民を対象にしたアンケートだが、「観光案内機能」に関する回答も多い。

Q3：札幌の顔・シンボルとしてイメージを高めるために必要なもの



「重視する機能」では「商業機能」の回答が多かったが、「イメージを高める」ためには「広場」「景観」「観光案内」といった来訪者を迎え入れる演出や機能に関する回答が多い。
 ここでも普段市民が利用する機会の少ない「観光機能」に対する関心が比較的高い。

(7) アンケート結果の考察

「重視すべき機能」に対する回答から、市民の多くは「商業機能」や「交通乗換機能」などの日常的な機能を重視していることがわかる。

その一方で、札幌駅周辺地区の「イメージを高める」ためには、「広場」「景観」「観光案内」といった来訪者を迎え入れる演出や機能を必要とする意見が多い。

自由回答では、来訪者を迎え入れる機能に関する回答が最も多く、次いで利便性に関する意見、観光・文化機能に関する意見が多い。

「重視すべきもの」「イメージを高めるために必要なもの」「自由回答」の回答結果から特徴的な内容として、普段市民が利用する機会の少ない観光案内・情報展示施設などの「観光機能」に関する回答が比較的多いことが挙げられる。札幌市民にとっての観光に対する重要性・関心が高まってきていることがわかる。

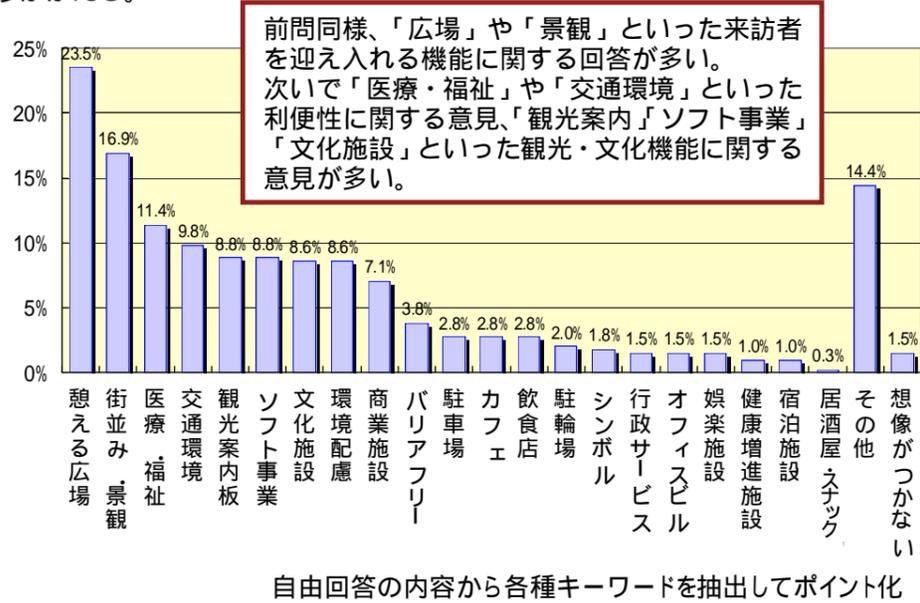
本調査はアンケート票の2,000人に郵送による調査であったが回答者数が498人（回答率24.5%）と4人に1人が返送により回答している。さらに、設問「自由回答」の記載者数が全回答者498人のうち、396人（記載率79.5%）と非常に高いことから、札幌駅周辺地区の将来に対する市民の関心の高さがうかがえる。

本調査からわかった「札幌駅周辺地区の将来に対する市民の関心の高さ」は、これまで札幌市が市政情報を積極的に提供して、市民の理解と関心を高めるために努めてきた結果が反映されているものと考えられる。

札幌市の情報公開度は「第12回情報公開度ランキング政令市総合ランキング（2007年度）」で全国3位、「第11回情報公開度ランキング政令市総合ランキング（2006年度）」で全国1位となっている（全国市民オンブズマン連絡会議発表）。

Q4：20年後の札幌駅周辺のまちづくりについて（自由回答）

自由回答の回答者数が498人中396人（79.5%）と非常に高いことから、札幌駅周辺地区の将来に対する市民の関心の高さがうかがえる。



前問同様、「広場」や「景観」といった来訪者を迎え入れる機能に関する回答が多い。次いで「医療・福祉」や「交通環境」といった利便性に関する意見、「観光案内」「ソフト事業」「文化施設」といった観光・文化機能に関する意見が多い。

市民アンケートの実施結果（クロス集計）

1. 主なクロス分析項目

クロス集計項目		分析内容
クロス項目	分析項目	
性別	訪問頻度	中心となる利用者属性
年代	訪問頻度	中心となる利用者属性
訪問頻度	訪問目的	どんな目的で利用している市民が多いか
訪問目的	重視すべき機能	将来も現状のままが良いか、それとも将来は異なる札幌駅交流拠点を望むか
重視すべき機能	イメージを高める機能	主観的な意見傾向と客観的な意見傾向の違い

～ は性別・年代でもクロス分析を行っている

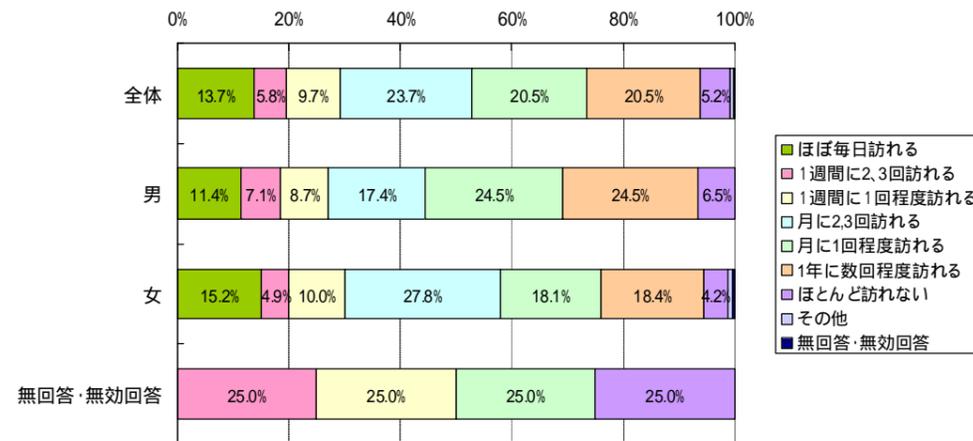
2. クロス分析の結果

性別別・訪問頻度：中心となる利用者属性

月2、3回以上訪問する割合は、女性で約60%、男性で約55%と、女性の方が札幌駅周辺地区を訪れる頻度は高い。

札幌駅周辺地区を訪れる頻度（男女別）

	全体	男	女	無回答・無効回答
ほぼ毎日訪れる	68	21	47	0
1週間に2、3回訪れる	29	13	15	1
1週間に1回程度訪れる	48	16	31	1
月に2、3回訪れる	118	32	86	0
月に1回程度訪れる	102	45	56	1
1年に数回程度訪れる	102	45	57	0
ほとんど訪れない	26	12	13	1
その他	3	0	3	0
無回答・無効回答	1	0	1	0
合計	497	184	309	4



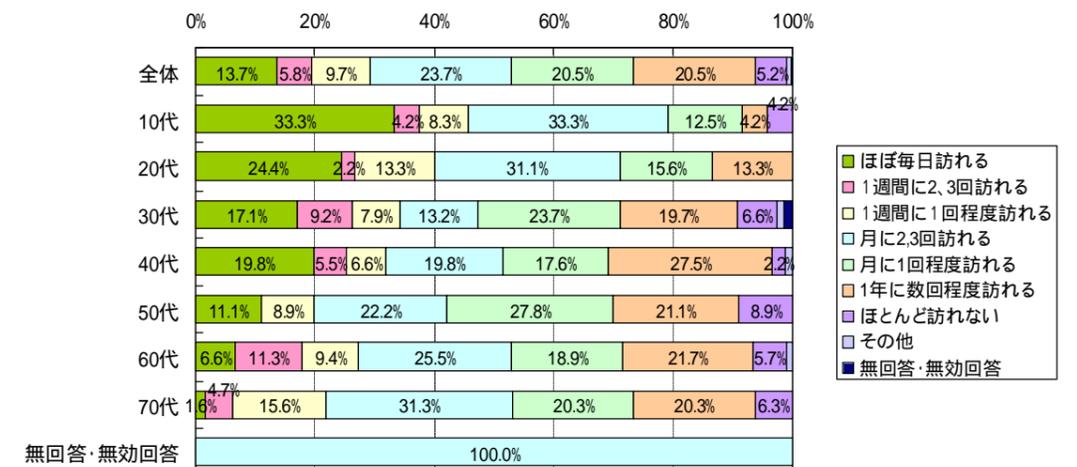
札幌駅周辺地区を訪れる頻度（男女別）

年代別・訪問頻度：中心となる利用者属性

月2、3回以上訪問する割合は、10代（約80%）、20代（約70%）が最も多く、ついで60代（約50%）、70代（約50%）が多い。50代の月2、3回以上訪問する割合は、約40%と最も低い。

札幌駅周辺地区を訪れる頻度（年代別）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答・無効回答
ほぼ毎日訪れる	68	8	11	13	18	10	7	1	0
1週間に2、3回訪れる	29	1	1	7	5	0	12	3	0
1週間に1回程度訪れる	48	2	6	6	6	8	10	10	0
月に2、3回訪れる	118	8	14	10	18	20	27	20	1
月に1回程度訪れる	102	3	7	18	16	25	20	13	0
1年に数回程度訪れる	102	1	6	15	25	19	23	13	0
ほとんど訪れない	26	1	0	5	2	8	6	4	0
その他	3	0	0	1	1	0	1	0	0
無回答・無効回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	497	24	45	76	91	90	106	64	1



札幌駅周辺地区を訪れる頻度（年代別）

訪問目的のクロス分析

【性別でクロス】

女性は男性に比べて、「生鮮食品以外の買物」「知人・友人と会う」といった余暇目的で訪問する割合が高い。

【年代でクロス】

若い年代ほど、「通勤・通学」や「生鮮食品以外の買物」目的で訪問する割合が高い。

高齢者は、「乗り継ぎ」や「通院」目的で訪問する割合が高い。

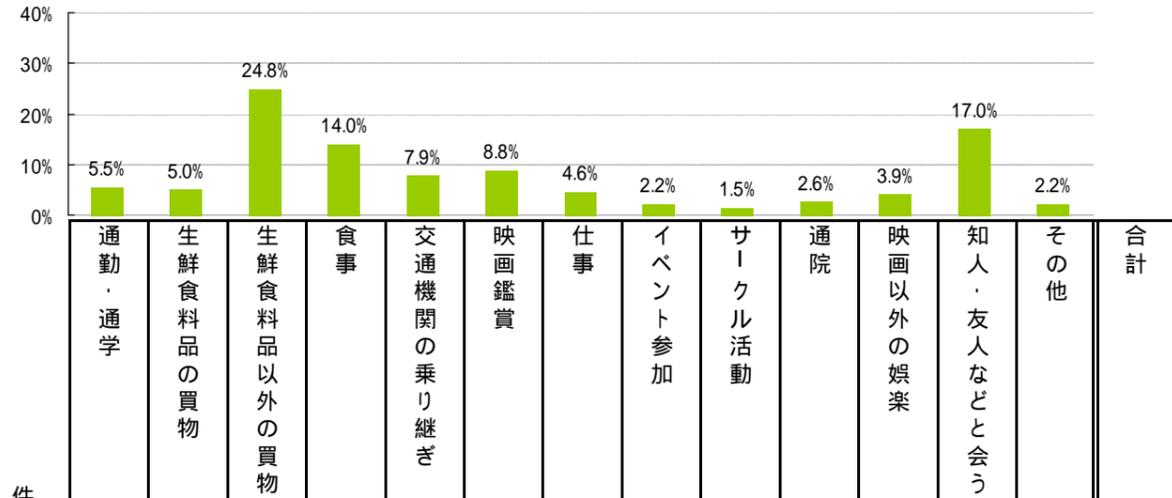
10代と高齢者は、「知人・友人と会う」目的で訪問する割合が高く、20代から50代の勤労者世代はその割合が低い。

【利用頻度でクロス】

「生鮮食品の買物」「生鮮食料品以外の買物」「食事」といった商業施設利用を目的とする人は、「月1～3回」訪問している割合が高い。

「イベント参加」目的の人は、「一年に数回程度」訪問している割合が高い(訪問頻度が低い)。

訪問目的



		件数	通勤・通学	生鮮食料品の買物	生鮮食料品以外の買物	食事	交通機関の乗り継ぎ	映画鑑賞	仕事	イベント参加	サークル活動	通院	映画以外の娯楽	知人・友人などとお会う	その他	合計
全体		493	5.5%	5.0%	24.8%	14.0%	7.9%	8.8%	4.6%	2.2%	1.5%	2.6%	3.9%	17.0%	2.2%	100.0%
性別	男	181	5.3%	4.4%	22.3%	13.9%	11.3%	7.5%	9.1%	3.3%	1.8%	2.6%	4.6%	12.4%	1.5%	100.0%
	女	308	5.5%	5.4%	26.3%	14.0%	6.1%	9.7%	2.3%	1.7%	1.2%	2.6%	3.6%	19.2%	2.5%	100.0%
年代	10代	24	8.5%	2.8%	26.8%	9.9%	2.8%	14.1%	1.4%	0.0%	0.0%	2.8%	9.9%	21.1%	0.0%	100.0%
	20代	45	10.3%	4.0%	27.8%	19.8%	2.4%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	15.9%	0.8%	100.0%
	30代	75	7.4%	3.4%	31.0%	15.3%	5.9%	6.4%	6.4%	2.0%	0.5%	1.5%	3.0%	15.8%	1.5%	100.0%
	40代	91	9.1%	5.0%	30.0%	14.1%	5.0%	10.0%	3.6%	2.7%	1.4%	3.2%	2.7%	11.8%	1.4%	100.0%
	50代	90	3.7%	4.9%	23.5%	14.4%	8.6%	11.5%	6.6%	1.6%	0.8%	0.8%	4.9%	17.3%	1.2%	100.0%
	60代	104	2.3%	5.3%	19.8%	9.9%	11.8%	7.6%	6.5%	3.4%	1.9%	3.1%	1.9%	19.8%	6.5%	100.0%
	70代	63	1.2%	7.6%	18.0%	15.7%	12.8%	5.8%	1.7%	3.5%	4.7%	7.0%	2.9%	18.6%	0.6%	100.0%
利用頻度	ほぼ毎日訪れる	68	32.2%	3.4%	19.0%	8.6%	7.5%	4.6%	10.9%	0.0%	0.0%	1.1%	2.9%	8.6%	1.1%	100.0%
	1週間に2,3回訪れる	29	7.5%	5.0%	23.8%	13.8%	7.5%	7.5%	7.5%	0.0%	5.0%	2.5%	2.5%	15.0%	2.5%	100.0%
	1週間に1回程度訪れる	48	2.3%	3.1%	23.7%	13.0%	9.2%	9.2%	6.9%	1.5%	3.1%	3.8%	6.1%	16.0%	2.3%	100.0%
	月に2,3回訪れる	117	0.9%	8.3%	25.8%	13.9%	6.8%	10.1%	2.1%	1.8%	2.4%	2.7%	5.0%	18.1%	2.1%	100.0%
	月に1回程度訪れる	101	0.0%	5.7%	27.9%	18.9%	5.7%	9.1%	3.4%	1.5%	0.8%	3.4%	4.5%	17.7%	1.5%	100.0%
	1年に数回程度訪れる	102	0.0%	2.7%	24.2%	14.1%	11.3%	9.0%	2.7%	6.6%	0.4%	2.0%	2.3%	21.9%	2.7%	100.0%
	ほとんど訪れない	24	0.0%	2.1%	29.8%	10.6%	10.6%	14.9%	6.4%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	14.9%	6.4%	100.0%

全体比と比べ、 +6%以上、 +3～6%未満、 3～6%、 以下
複数回答の合計ptに対する割合(%)を表示

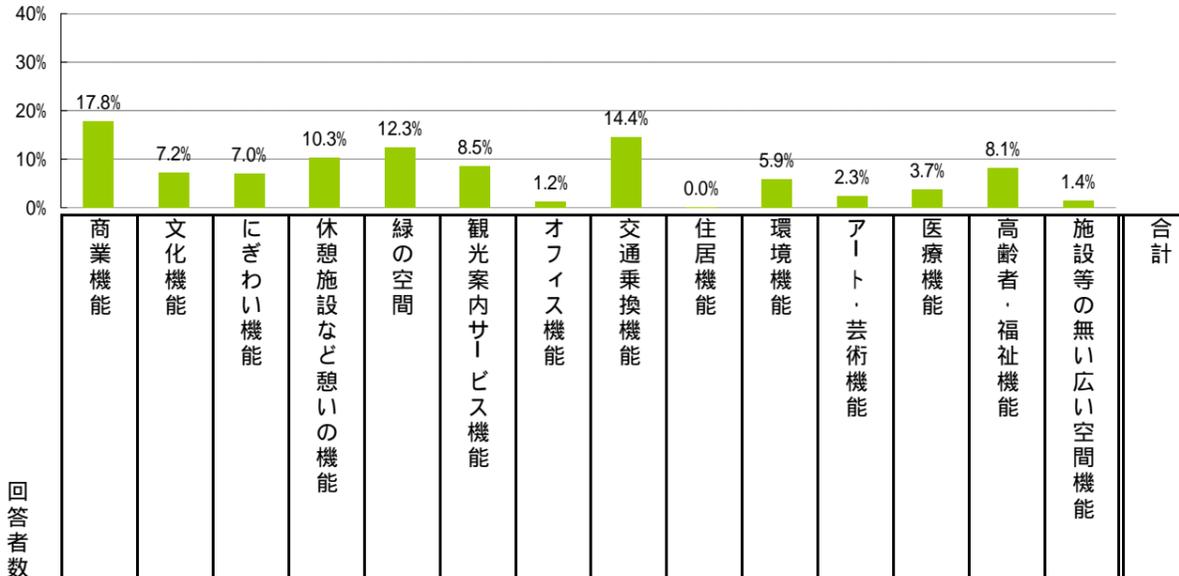
20年後を見据えて重視すべき機能のクロス分析

【性別でクロス】
性別による大きな差異はない。

【年代でクロス】
20代は、「商業機能」や「にぎわい機能」といった余暇活動に関する機能を望む割合が高い。
10代、20代といった若年層は、「文化機能」の回答割合が低い。
70代は、「医療機能」を望む割合が高い。

【目的でクロス】
全体の回答割合と目的別クロスでの回答割合を比較すると、全体と目的別クロスでの回答割合の差が少ないことから、どの訪問目的で訪れている人も同様の傾向で重視すべき機能について回答していることがわかる。
訪問目的を現在の利用目的、重視すべき機能を将来の利用目的と捉えると、現在の目的で将来も利用したいと考えている傾向があると考えられる。
以下、全体的な傾向の例外として、「仕事」目的の人は、「緑の空間」や「観光案内サービス機能」の回答割合が比較的高いことから、現在の利用目的とは異なる機能を将来重視すべきだと回答している。
「イベント参加」目的の人は、「観光案内サービス機能」の回答割合が特に高いことから、都市観光に興味を持っている可能性がある。
「通院」目的の人は「医療・福祉機能」の回答割合が高いことから、現状の医療機能に加えて札幌駅周辺にさらに医療施設を充実させてほしいと考えていることがわかる。

20年後を見据えて重視すべき機能



		全体	483	17.8%	7.2%	7.0%	10.3%	12.3%	8.5%	1.2%	14.4%	0.0%	5.9%	2.3%	3.7%	8.1%	1.4%	100.0%
性別	男	178	18.0%	7.8%	8.4%	7.7%	12.4%	9.4%	1.1%	15.7%	0.0%	4.6%	2.4%	3.3%	6.6%	2.6%	100.0%	
	女	302	17.4%	6.8%	6.2%	11.8%	12.1%	8.1%	1.2%	13.8%	0.1%	6.6%	2.2%	3.9%	9.0%	0.7%	100.0%	
年代	10代	24	16.2%	1.4%	6.5%	7.9%	16.2%	9.7%	0.0%	19.0%	0.0%	5.6%	1.4%	5.1%	10.2%	0.9%	100.0%	
	20代	45	21.2%	2.7%	15.3%	7.9%	13.3%	4.0%	1.2%	11.6%	0.0%	5.7%	5.2%	3.0%	7.9%	1.0%	100.0%	
	30代	76	18.6%	5.4%	8.3%	11.4%	9.9%	8.3%	0.6%	12.6%	0.1%	8.3%	1.9%	3.7%	9.2%	1.6%	100.0%	
	40代	89	20.7%	10.5%	7.5%	5.6%	12.1%	9.1%	1.9%	12.6%	0.0%	5.7%	4.2%	2.0%	7.9%	0.1%	100.0%	
	50代	88	13.4%	8.1%	5.6%	12.3%	13.3%	8.7%	1.8%	15.2%	0.0%	5.6%	1.5%	3.8%	8.9%	1.9%	100.0%	
	60代	103	17.5%	7.7%	5.0%	11.3%	12.0%	11.1%	1.2%	17.2%	0.1%	5.4%	1.0%	2.9%	6.0%	1.6%	100.0%	
	70代	58	17.6%	8.2%	3.6%	14.4%	12.1%	5.9%	0.2%	14.0%	0.0%	4.2%	1.1%	7.3%	8.8%	2.5%	100.0%	
目的	通勤・通学	71	16.1%	8.5%	8.0%	7.7%	12.6%	9.6%	2.0%	15.7%	0.0%	3.9%	2.8%	3.1%	9.4%	0.3%	100.0%	
	生鮮食品の買物	62	17.2%	8.6%	7.0%	11.3%	14.2%	6.8%	1.6%	12.2%	0.0%	5.7%	2.3%	4.7%	7.7%	0.7%	100.0%	
	生鮮食品以外の買物	312	20.0%	7.0%	7.6%	10.0%	12.2%	8.4%	1.1%	13.4%	0.0%	5.5%	2.5%	2.8%	8.3%	1.2%	100.0%	
	食事	177	20.4%	6.9%	8.5%	8.9%	12.3%	7.7%	1.3%	12.4%	0.1%	6.7%	2.1%	2.9%	8.5%	1.3%	100.0%	
	交通機関の乗り継ぎ	98	13.6%	7.3%	6.2%	9.9%	12.2%	8.3%	1.0%	19.6%	0.2%	4.4%	1.6%	4.4%	8.2%	3.1%	100.0%	
	映画鑑賞	112	18.3%	8.7%	7.1%	9.1%	11.1%	6.7%	0.8%	14.2%	0.0%	7.3%	2.1%	3.5%	8.5%	2.5%	100.0%	
	仕事	58	16.0%	5.0%	7.7%	10.0%	15.8%	12.4%	1.7%	14.3%	0.0%	3.5%	2.7%	2.3%	5.6%	2.9%	100.0%	
	イベント参加	29	16.2%	2.3%	5.8%	10.0%	8.8%	14.6%	0.8%	18.1%	0.0%	9.2%	2.7%	3.1%	7.7%	0.8%	100.0%	
	サークル活動	17	21.6%	12.4%	3.3%	9.2%	13.7%	3.9%	0.0%	14.4%	0.0%	4.6%	2.0%	5.9%	7.2%	2.0%	100.0%	
	通院	33	12.5%	4.4%	4.0%	8.4%	13.1%	7.7%	2.0%	19.2%	0.0%	4.7%	2.0%	10.8%	10.8%	0.3%	100.0%	
	映画以外の娯楽	50	14.5%	8.0%	6.9%	10.9%	14.9%	6.0%	0.0%	15.6%	0.0%	5.3%	1.6%	4.5%	8.2%	3.6%	100.0%	
	知人・友人などと会う	213	17.4%	7.4%	5.7%	12.3%	11.5%	7.8%	0.9%	13.7%	0.1%	7.9%	1.9%	3.2%	9.1%	1.0%	100.0%	

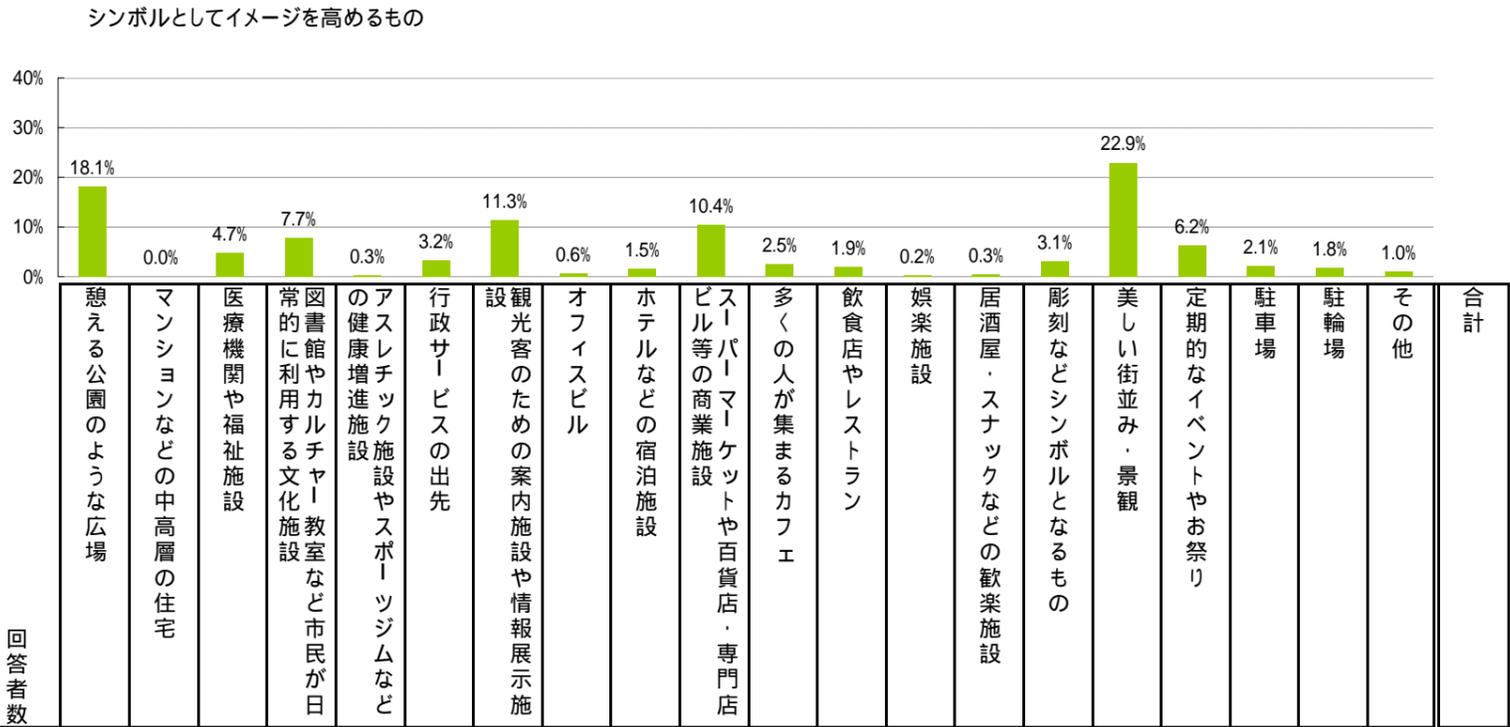
全体比と比べ、+6%以上、+3~6%未満、-3~6%、-6%以下
複数回答の合計ptに対する割合(%)を表示

シンボルとしてイメージを高めるもののクロス分析

【性別でクロス】
性別による大きな差異はない。

【年代でクロス】
10代、20代の若年層は、「商業施設」「飲食施設」「イベント」をイメージを高めるものとして重要と回答している割合が高い。
60代、70代の高齢者は「観光情報施設」がイメージを高めるものとして回答している割合が高い。

【重視すべき機能でクロス】
全体の回答割合と重視すべき機能別クロスでの回答割合を比較すると、重視すべき機能で重要だと回答した内容について、イメージを高めるものとしてさらに重要だと回答している傾向がある。例えば、重視すべき機能で「商業機能」と回答した人は、イメージを高める機能として「商業施設」がさらに重要(全体割合の3倍近く)だと回答している。
重視すべき機能を主観的な意見、イメージを高める機能を客観的な意見と考えると、市民は主観的に必要だと思う機能について、客観的な視点ではさらに必要だと考えている。
以下、全体的な傾向の例外として、重視すべき機能で「交通乗換機能」と答えた人は、イメージを高める機能として「景観」が必要と回答する割合が高いことから、交通乗換機能はシンボルイメージを高めるものとして捉えられていないことがわかる。
重視すべき機能で「アート・芸術機能」と回答した人は、イメージを高める機能として「広場」「景観」が必要と回答する割合が高い。アート・芸術機能を重視する人はシンボルイメージを高めるためには「文化施設」を重要視していないことがわかる。



全体		483	18.1%	0.0%	4.7%	7.7%	0.3%	3.2%	11.3%	0.6%	1.5%	10.4%	2.5%	1.9%	0.2%	0.3%	3.1%	22.9%	6.2%	2.1%	1.8%	1.0%	100.0%
性別	男	177	19.9%	0.0%	4.2%	7.4%	0.1%	3.2%	12.2%	0.7%	1.6%	10.3%	1.7%	2.5%	0.4%	0.6%	3.8%	19.3%	7.7%	1.4%	1.8%	1.2%	100.0%
	女	301	17.2%	0.0%	5.0%	8.0%	0.4%	3.1%	10.6%	0.6%	1.4%	10.3%	3.0%	1.6%	0.1%	0.2%	2.7%	25.0%	5.4%	2.5%	1.8%	1.0%	100.0%
年代	10代	24	13.0%	0.0%	0.5%	4.6%	0.0%	0.5%	7.9%	0.0%	1.9%	15.3%	3.7%	3.2%	0.5%	0.0%	2.3%	27.3%	13.0%	0.5%	6.0%	0.0%	100.0%
	20代	45	18.3%	0.0%	3.7%	3.0%	1.2%	0.2%	9.9%	2.0%	2.2%	7.9%	2.0%	7.2%	0.7%	1.0%	7.2%	18.0%	10.6%	2.2%	2.0%	0.0%	100.0%
	30代	76	20.5%	0.0%	3.1%	6.0%	0.7%	1.5%	9.1%	0.4%	0.0%	11.8%	4.4%	1.9%	0.0%	0.0%	3.4%	24.3%	7.6%	3.2%	1.3%	0.9%	100.0%
	40代	88	16.2%	0.0%	4.3%	9.2%	0.0%	4.5%	8.5%	0.4%	1.9%	12.6%	1.7%	1.4%	0.1%	1.1%	2.5%	23.9%	6.5%	2.3%	0.9%	2.0%	100.0%
	50代	88	15.2%	0.0%	4.2%	7.8%	0.3%	3.1%	12.2%	0.3%	0.9%	8.2%	2.6%	1.3%	0.5%	0.1%	2.7%	29.1%	6.3%	0.9%	2.7%	1.9%	100.0%
	60代	103	20.1%	0.0%	5.5%	9.4%	0.1%	4.3%	14.7%	1.2%	2.7%	9.8%	1.7%	0.9%	0.1%	0.0%	1.9%	19.6%	3.2%	2.5%	1.7%	0.5%	100.0%
	70代	57	20.9%	0.0%	9.4%	9.9%	0.2%	5.7%	13.8%	0.0%	0.6%	9.2%	2.1%	0.8%	0.0%	0.2%	3.1%	17.7%	2.9%	2.1%	0.8%	0.6%	100.0%
重視すべき機能	商業機能	117	14.1%	0.0%	3.8%	6.2%	0.4%	3.5%	8.5%	0.8%	1.8%	29.8%	0.8%	0.6%	0.0%	0.0%	2.7%	20.3%	4.4%	0.4%	1.4%	0.4%	100.0%
	文化機能	31	19.7%	0.0%	1.9%	19.7%	0.0%	5.8%	7.1%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	30.0%	3.9%	0.0%	1.9%	0.3%	100.0%
	にぎわい機能	30	16.9%	0.0%	2.7%	2.3%	1.7%	3.3%	5.0%	0.3%	1.3%	16.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	15.6%	24.9%	0.3%	1.3%	3.0%	100.0%
	休憩施設など憩いの機能	39	36.8%	0.0%	3.3%	6.5%	0.0%	2.0%	4.2%	0.0%	0.0%	11.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	21.7%	3.6%	1.8%	0.7%	0.7%	100.0%
	緑の空間	61	40.3%	0.0%	1.3%	5.8%	0.0%	2.1%	5.8%	1.5%	0.0%	3.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.8%	31.7%	2.4%	1.1%	0.9%	1.7%	100.0%
	観光案内サービス機能	32	17.7%	0.0%	1.9%	5.3%	0.0%	1.7%	22.4%	0.0%	1.1%	9.1%	0.8%	0.3%	0.0%	0.0%	1.7%	29.1%	6.4%	0.8%	1.7%	0.0%	100.0%
	オフィス機能	0	8.0%	0.0%	2.0%	8.0%	0.0%	0.0%	12.0%	6.0%	12.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	交通乗換機能	84	12.1%	0.0%	3.2%	5.3%	0.0%	2.7%	13.5%	0.0%	1.6%	7.7%	0.8%	0.5%	0.0%	0.0%	4.7%	37.6%	4.2%	2.3%	2.3%	1.6%	100.0%
	住居機能	0	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	環境機能	27	27.6%	0.0%	5.1%	3.1%	0.0%	2.0%	6.7%	0.0%	0.0%	2.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	46.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	アート・芸術機能	5	21.4%	0.0%	1.0%	10.2%	0.0%	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	8.2%	4.1%	0.0%	0.0%	5.1%	5.1%	27.6%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	100.0%
	医療機能	13	14.5%	0.0%	31.4%	6.9%	0.0%	4.4%	8.2%	0.0%	3.1%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	14.5%	3.1%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%
	高齢者・福祉機能	39	20.2%	0.0%	12.8%	12.3%	0.0%	2.0%	10.0%	0.0%	0.6%	9.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	1.7%	19.4%	4.6%	2.8%	0.9%	1.7%	100.0%
施設等の無い広い空間機能	5	54.1%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	23.0%	8.2%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%	

全体比と比べ、■ +6%以上、■ +3~6%未満、■ 3~6%、■ 6%以下
複数回答の合計ptに対する割合(%)を表示

【利便性】
冬道では公共交通機関で施設(建物)まで移動できるようにしてほしい

【安心・安全】
歩行者や自転車の通行量が多いので、子供から高齢者まで安心して楽しめる場所にしてほしい

【活気・にぎわい】
イベントを行うシンボリックなスペースや、地下空間を利用したくなるような工夫を行い、まちを活気づけてほしい

【憩いの場】
良い時間を過ごせる広い憩いの場があると良い

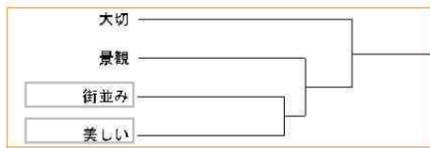
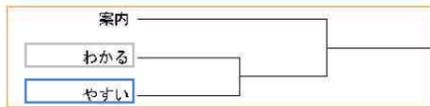
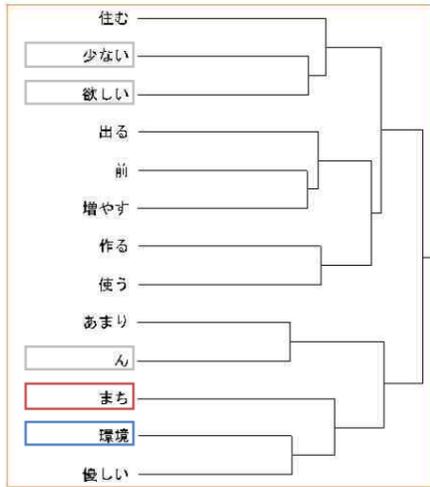
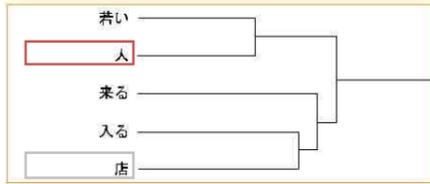
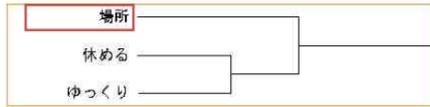
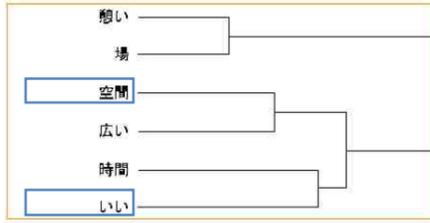
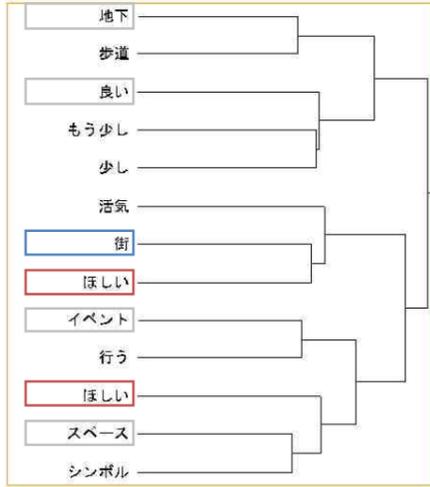
【交流】
若い人たちの集う広場も必要だが、幅広い世代がゆっくり休める場所があると良い

【バリアフリー・医療福祉】
高齢化社会を見据え、バリアフリーや医療福祉機能が求められる

【交通環境・景観】
駅前などは自動車や建物で雑然とするのではなく、緑があり人に優しく、住む人にとって良い環境にしてほしい

【案内】
わかりやすい案内を設けてほしい

【景観】
緑や古い建物など札幌らしい景観を大切に、美しい街並みを形成してほしい



【テキストマイニングとは】
テキストマイニングとは、統計ソフトを用いて、大量のテキストを品詞毎に分解し、出現数の多い品詞や、出現数の多い品詞同士の関連性などを定量的かつ客観的に分析する統計的手法。

【テキストマイニングの手順】
品詞毎の出現回数を計算
15回以上出現している品詞について、階層的クラスタ分析を行う
出現している距離の近い品詞をグループでまとめる
クラスタ分析の結果からグループ毎にどのような傾向があるのかを考察する
クラスタ分析の結果からでは方向性を読み取れない場合は、実際の回答内容を確認して考察する
出現回数の多い品詞を含むグループを明示する



品詞の出現回数が平均より少ないグループ

品詞の出現回数が平均程度のグループ

品詞の出現回数が平均の1.5倍程度のグループ

品詞の出現回数が平均の2倍以上のグループ

【自然】
デパートやビルが立ち並ぶだけではなく、大通公園のように自然や緑を感じられる場所にしてほしい

【利用者】
市民にとっても来訪者にとっても便利なまちであってほしい

【新幹線】
新幹線乗り入れを見据えて必要な機能を導入してほしい
具体の方向性はなし

【商業機能と文化機能】
北海道内の各都市への観光客が集まる中心として、商業施設は必要だが、商業機能は既に充実しているとも考えられる
図書館などの日常的な文化機能や、札幌の文化を発信する施設は不足している。

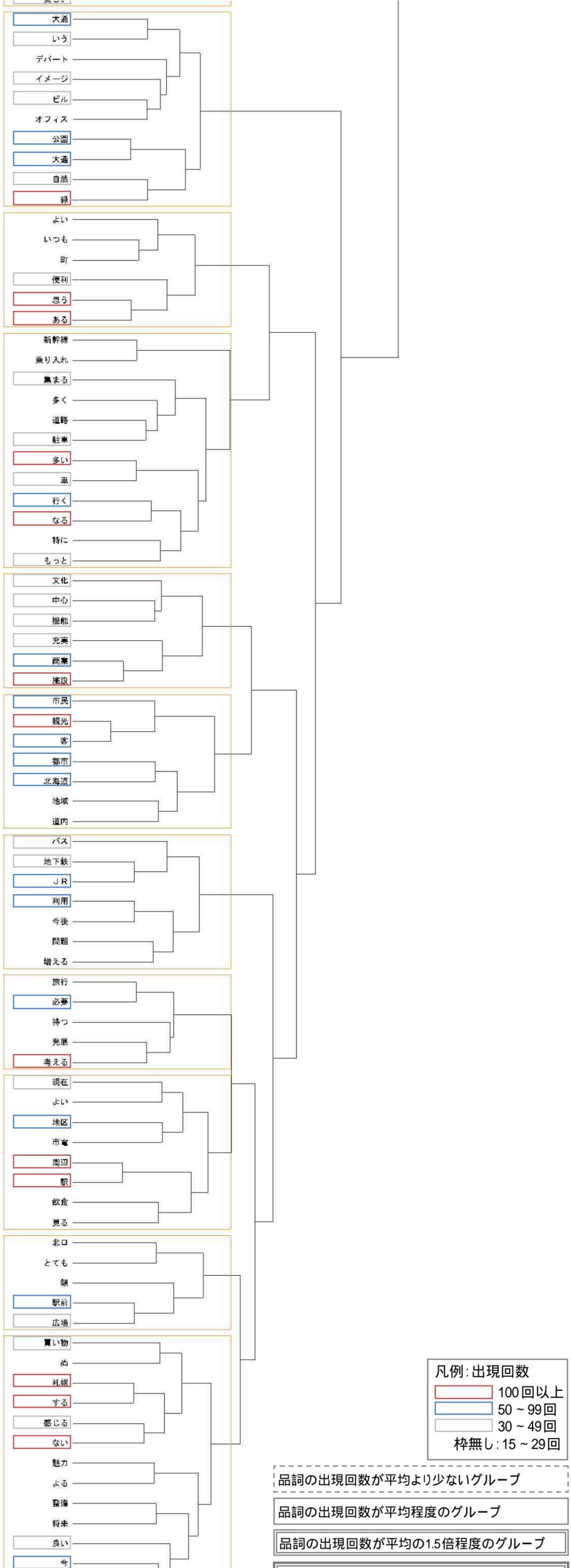
【交通結節点機能】
バス、地下鉄、JRの乗り換えをスムーズにしてほしい

【イメージ】
今後の発展を考えると旅行者への案内や印象づけが必要となる

【路面電車】
市電の札幌駅周辺への延伸については賛否があるが、映画を見たり、飲食をしったりする回遊性を向上させる検討が必要

【北口】
駅前広場はその地区の顔となるのだが、北口は雑然としていてさびしい印象を受ける

【新たな導入機能】
買い物に加えて、将来的には札幌の魅力を感じるものを整備してはどうか





- 品詞の出現回数が平均より少ないグループ
- 品詞の出現回数が平均程度のグループ
- 品詞の出現回数が平均の1.5倍程度のグループ
- 品詞の出現回数が平均の2倍以上のグループ

2. クロス分析全体の考察

どの「訪問目的」でも「将来重視すべき機能」の回答内容が同様の傾向であった。訪問目的を「現在の考え方」、将来重視すべき機能を「将来の考え方」と捉えると、回答者は現在求めるものを将来も求めていると考えられる。

また、「将来重視すべき機能」で重要と回答している内容について、「シンボルを高めるために必要なもの」ではさらに重要であると回答する傾向があった。将来重視すべき機能を「主観的な視点」、シンボルを高めるために必要なものを「客観的な視点」と捉えると、主観的な視点で必要だと回答している内容を客観的な視点ではさらに重要だと回答する傾向がある。

